# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC44)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年12月20日

#### 中央水產試験場資源管理部

地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Ac	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
標津	12/16	0	7.7	32.9	0	0	0	0	0	
11.0		5	7.2	32.9	0	0	0	10	0	
		10	7.2	32.9	0	0	0	10	0	
		15	7.2	32.9	0	0	0	20	0	
厚岸	12/12	0	5.8	33.0	0	0	0	20	0	
5.0		5	5.8	33.1	0	0	0	10	10	Di10
		10	6.1	33.1	0	0	0	50	30	Di30
		13	6.6	33.2	0	0	0	0	10	Dru10

At = Alexandrium tamarense species complex  $7\nu$ 7 +  $3\nu$ 7 -  $3\nu$ 7 - 3

Ac = Alexandrium tamarense species complex アレキサント・リウム タマレンセ スピーシース・(IBA. catenella アレキサント・リウム・カテネラ)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス・ルジェイ

Dc = Dinophysis caudata ディノフィシス・コウダータ、Dtri = Dinophysis triposディノフィシス・トリポス

#### コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種は標津ではディノフィシス・アキュミナータ、 厚岸ではディノフィシス・アキュミナータ、ディノフィシス・インファンディブラ、ディノフィシス・ルジェイが 出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC43)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年12月9日

#### 中央水産試験場資源管理部

				莊	痺性原因	1種	-	下痢性原	<b></b> 田種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	<u>વ</u> 1≆ Ac	Df	<u>ロール・リュルト</u> Da	D属の他種	- 備考
(透明度m)	/	(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L		細胞/L	細胞/L	Min . 2
江差	11/18	0	13.4	33.7	0	0	0	0	0	
15.3		10	13.4	33.7	0	0	0	0	0	
		20	13.4	33.8	0	0	0	0	0	
		30	13.5	33.8	0	0	0	0	0	
増毛	11/24	0	11.0	32.5	0	0	0	0	0	
14.0		10	12.7	33.7	0	0	0	0	0	
		20	12.7	33.8	0	0	0	0	0	
		30	12.6	33.8	0	0	0	0	0	
サロマ湖	12/5	0	5.2	32.4	0	0	0	80	0	
8.8		3	5.3	32.5	0	0	0	40	0	
		6	5.3	32.5	0	0	0	10	0	
		9	5.3	32.5	0	0	0	30	0	
		12	5.3	32.5	0	0	0	30	10	Di10
		15	5.3	32.5	0	0	0	20	0	
能取湖	12/2	0	5.5	32.1	0	0	0	170	0	
8.5		10	5.7	32.3	0	0	0	130	0	

#### コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種は江差、増毛では出現していません。 サロマ湖ではディノフィシス・アキュミナータ、ディノフィシス・インファンディブラ、 能取湖ではディノフィシス・アキュミナータが出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Ac = Alexandrium tamarense species complex 7ν+ ተንነት ነባሳ ላይ የተንነት ነባ

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディプラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス・ルジェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス・コウダータ、Dtri = Dinophysis triposディノフィシス・トリホ ス

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC42)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年12月2日

#### 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因	1種	-	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Ac	Df	Da	D属の他種	- 備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
江差	10/31	0	16.0	33.7	0	0	0	0	0	
12.0		10	15.0	33.8	0	0	0	0	0	
		20	13.9	34.0	0	0	0	0	0	
		30	12.8	34.1	0	0	0	0	0	
浜益	11/8	0	12.3	31.3	0	0	0	0	0	
6.0		10	14.2	33.3	0	0	0	0	0	
		20	14.6	33.7	0	0	0	20	0	
		30	14.5	33.8	0	0	0	0	0	
猿払	11/17	0	12.0	33.6	0	0	0	0	0	
_		10	12.1	33.7	0	0	0	0	0	
		15	12.1	33.7	0	0	0	0	0	
		20	12.1	33.7	0	0	0	0	0	
標津	11/18	0	11.2	33.5	0	0	0	0	10	Di10
10.0		5	11.2	33.5	0	0	0	30	10	Di10
		10	11.2	33.5	0	0	0	30	10	Di10
		15	11.2	33.5	0	0	0	10	10	Di10

#### コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種は江差、猿払では出現していません。

増毛ではディノフィシス・アキュミナータ、

標津ではディノフィシス・アキュミナータ、ディノフィシス・インファンディブラが出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Ac = Alexandrium tamarense species complex 7ν+ ተንነት ነባሳ ላይ የተንነት ነባ

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディプラ

Dc = Dinophysis caudata ፲ ኅ/フィシス・コウダータ、Dtri = Dinophysis tripos ፲ ኅ/フィシス・トリホ ス

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC41)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年11月11日

#### 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因	種	-	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Ac	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
増毛	10/25	0	16.0	33.4	0	0	0	0	0	
16.0		10	16.5	33.6	0	0	0	0	0	
		20	16.9	33.8	0	0	0	0	0	
		30	16.9	33.8	0	0	0	0	0	
常呂	11/8	0	10.9	32.9	0	0	0	140	0	
20.0		10	11.0	33.0	0	0	0	100	0	
		20	11.7	33.3	0	0	0	40	0	
		30	12.0	33.4	0	0	0	40	0	
サロマ湖	11/7	0	11.2	33.2	0	0	30	60	10	Di10
5.3		3	11.2	33.2	0	0	30	10	50	Di50
		6	11.2	33.2	0	0	20	40	50	Di50
		9	11.2	33.3	0	0	30	10	20	Di20
		12	11.2	33.3	0	0	10	60	30	Di30
		15	11.2	33.3	0	0	20	30	20	Di20
厚岸	11/8	0	11.5	33.3	0	0	0	20	10	Di10
6.0		5	11.5	33.3	0	0	0	40	40	Di40
		10	11.8	33.4	0	0	10	10	30	Di30
		13	11.8	33.4	0	0	0	10	10	Di10

#### コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種は増毛では出現していません。

常呂ではディノフィシス・アキュミナータ、

サロマ湖ではディノフィシス・フォルティ、ディノフィシス・アキュミナータ、ディノフィシス・インファンディブラ、厚岸ではディノフィシス・フォルティ、ディノフィシス・アキュミナータ、ディノフィシス・インファンディブラが出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント・リウム・アフィネ(無毒種)

Ac = Alexandrium tamarense species complex ፖレትサント ሀሳሌ ያマレンセ スピーシース (旧A. catenella アレキサント・リウム・カテネラ)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロッンダータ、 Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ. Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス・ルジェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス・コウダータ、Dtri = Dinophysis triposディノフィシス・トリポス

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC40)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年10月24日

#### 中央水産試験場資源管理部

				麻	因種					
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Ac	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
江差	9/28	0	21.8	33.4	0	0	0	0	0	
11.5		10	21.5	33.7	0	0	0	0	0	
		20	20.5	33.7	0	0	0	0	0	
		30	18.4	34.1	0	0	0	0	10	Dro10
浜益	10/13	0	17.0	31.0	0	0	0	30	0	
7.0		10	18.2	33.2	0	20	0	40	0	
		20	18.4	33.3	0	0	0	20	0	
		30	18.5	33.6	0	0	0	30	0	
能取湖	10/6	0	17.0	33.3	0	0	0	0	60	Dn10,Di50
6.8		10	17.0	33.4	0	0	10	0	20	Di20
標津	10/18	0	15.8	33.6	0	0	0	0	20	Dro10,Di10
8.0		5	15.9	33.6	0	0	0	0	0	
		10	15.9	33.6	0	0	0	0	0	
		15	15.7	33.6	0	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex  $7\nu$ 7 +  $37\nu$ 7 (IBA. tamarense  $37\nu$ 7 +  $37\nu$ 7 +

Ac = Alexandrium tamarense species complex ፖレキサント・リウム タマレンセ スピーシース\*(旧A. catenella アレキサント・リウム・カテネラ)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス・ルジェイ

Dc = Dinophysis caudata ディノフィシス・コウダータ、Dtri = Dinophysis triposディノフィシス・トリポス

#### コメント

麻痺性原因種のAcが浜益にて出現しています。

下痢性原因種は江差ではディノフィシス・ロツンダータ、

浜益ではディノフィシス・アキュミナータ、

能取湖ではディノフィシス・フォルティ、ディノフィシス・ノルヴェジカ、ディノフィシス・インファンディブラ、標津ではディノフィシス・ロツンダータ、ディノフィシス・インファンディブラが出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC39)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年10月14日

#### 中央水產試験場資源管理部

				麻	痺性原因種	-	下痢性原	因種		
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	-	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L		
猿払	10/4	0	17.0	33.6	0	0	0	0		
_		10	17.6	33.7	0	0	0	10	Dro10	
		15	17.3	33.7	0	0	0	0		
		20	17.2	33.7	0	0	0	10	Dro10	
常呂	10/11	0	15.5	33.7	0	0	0	0		
14.0		10	15.2	33.8	0	0	0	0		
		20	14.1	33.8	0	0	0	10	Dro10	
		30	14.1	33.8	0	0	0	10	Dro10	
サロマ湖	10/11	0	16.3	33.5	0	90	0	0		
9.8		3	16.2	33.5	0	80	0	50	Di50	
		6	16.2	33.5	0	10	0	70	Di70	
		9	16.2	33.5	0	10	0	10	Di10	
		12	16.2	33.5	0	0	0	0		
		15	16.2	33.5	0	0	0	0		
厚岸	10/6	0	16.0	32.2	0	10	0	0		
2.5		5	16.5	32.7	0	0	0	0		
		10	16.0	33.5	0	0	0	0		
		13	16.0	33.5	0	0	0	0		

#### コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種は猿払、常呂ではディノフィシス・ロッンダータ、 サロマ湖ではディノフィシス・フォルティ、ディノフィシス・インファンディブラ、 厚岸ではディノフィシス・フォルティが出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント ゚リウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス・ルジェイ

Dc = Dinophysis caudata ディノフィシス・コウダータ、Dtri = Dinophysis tripos ディノフィシス・トリホ ス

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC38)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年9月30日

#### 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因	種	-	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Aa	Df	Da	D属の他種	備考
<u>(透明度m)</u>		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
増毛	9/13	0	21.8	33.4	0		0	0	0	
17.0		10	21.4	33.8	0		0	0	0	
		20	21.3	33.9	0		0	0	0	
		30	20.9	33.9	0		0	0	0	
能取湖	9/22	0	18.7	33.1	0		20	0	60	Dro10,Di50
7.5		10	19.4	33.4	0		0	0	0	
標津	9/26	0	18.9	33.5	20		0	0	0	
11.0		10	18.9	33.5	0		10	0	0	
		20	18.7	33.5	0		0	0	0	
		30	17.5	33.8	0		0	0	10	Dro10

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス・ルン゙ェイ

Dc = Dinophysis caudata ディノフィシス・コウダータ、Dtri = Dinophysis tripos ディノフィシス・トリホ ス

#### コメント

麻痺性原因種Atは標津で出現しています。増毛、能取湖では出現していません。

#### 下痢性原因種は増毛では出現していません。

能取湖ではディノフィシス・フォルティ、ディノフィシス・ロツンダータ、ディノフィシス・インファンディブラが出現しています。標津ではディノフィシス・フォルティ、ディノフォシス・ロツンダータが出現しています。

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC37)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年9月16日

#### 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因	種	-	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	 Aa	Df	Da	D属の他種	- 備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
浜益	9/8	0	22.3	32.0	0		0	0	0	
6.0		10	21.8	33.6	0		0	0	0	
		20	20.9	33.8	0		0	0	10	Dn10
		30	19.8	33.9	0		0	0	0	
猿払	9/6	0	21.5	33.2	0		0	0	0	
_		10	21.4	33.3	0		0	0	0	
		15	21.1	33.4	0		0	0	0	
		20	21.1	33.4	0		0	0	0	
常呂	9/9	0	21.3	33.7	0		0	0	0	
13.0		10	21.3	33.7	0		0	10	0	
		20	20.7	33.7	0		0	10	0	
		30	20.5	33.8	0		0	0	0	
サロマ湖	9/13	0	21.5	33.6	0	130	10	10	20	Di20
9.1		3	21.4	33.5	0	80	30	10	30	Di30
		6	21.3	33.4	0	4970	30	0	30	Di20,Dm10
		9	21.2	33.4	0	290	20	0	0	
		12	21.0	33.4	0	50	0	0	20	Dro20
		15	20.9	33.4	0	60	0	0	20	Dro20

At = Alexandrium tamarense species complex ፖレキサント ነባጎム \$マレンセ スピーシース ٔ コンプ ບックス (旧A. tamarense アレキサント ነባጎム・\$マレンセ)

#### コメント

麻痺性原因種Atは猿払・常呂・サロマ湖では出現していません。

下痢性原因種は浜益ではディノフィシス・ノルヴェジカが出現しています。

猿払では出現していません。

常呂ではディノフィシス・アキュミナータ、

サロマ湖ではディノフィシス・フォルティ、ディノフォシス・アキュミナータ、ディノフィシス・インファンディブラ ディノフィシス・ミトラ、ディノフィシス・ロツンダータが出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス・ルジェイ

Dc = Dinophysis caudata ディノフィシス・コウダータ、Dtri = Dinophysis tripos ディノフィシス・トリホ ス

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC36)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年9月8日

#### 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種		下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	· 備考
<u>(透明度m)</u>		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	. 細胞/L	細胞/L	
江差	8/18	0	24.6	32.1	0	0	0	0	
3.0		10	24.9	33.7	0	0	0	0	
		20	20.5	34.1	0	0	0	0	
		30	18.0	34.3	0	0	0	0	
能取湖	8/29	0	21.5	33.2	0	10	20	120	Dn30,Dro80,Di10
8.3		10	20.2	33.5	0	0	10	0	
厚岸	9/5	0	19.0	29.8	0	0	430	0	
1.8		5	16.5	32.5	0	10	90	0	
		10	15.6	32.7	0	0	40	10	Dn10
		13	15.1	32.8	0	0	0	0	

 $At = Alexandrium \ tamarense \ species \ complex \ \textit{T} \textit{L} + \textit{T} \textit{J} + \textit{$ 

#### コメント

麻痺性原因種Atは江差・能取湖・厚岸では出現していません。

下痢性原因種は江差では出現していません。

能取湖ではディノフィシス・フォルティ、ディノフィシス・アキュミナータ、ディノフィシス・ノルヴェジカ、 ディノフィシス・ロツンダータ、ディノフィシス・インファンディブラが出現しています。 厚岸ではディノフィシス・フォルティ、ディノフィシス・アキュミナータ、ディノフィシス・ノルヴェジカが出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス・ルジェイ

Dc = Dinophysis caudata ディノフィシス・コウダータ、Dtri = Dinophysis triposディノフィシス・トリホ ス

### 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC35)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年8月30日

#### 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種	-	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
浜益	8/17	0	23.6	32.3	0	0	0	0	
12.0		10	23.0	33.8	0	0	0	0	
		20	21.1	33.9	0	0	0	0	
		30	18.0	34.1	0	0	0	30	Dn20,Dro10
増毛	8/17	0	23.1	33.4	0	0	0	0	
14.0		10	23.1	33.5	0	0	0	0	
		20	21.8	33.7	0	0	0	0	
		30	20.1	33.9	0	0	0	0	
猿払	8/18	0	20.3	33.7	0	0	0	0	
_		10	19.8	33.7	0	0	0	0	
		15	19.8	33.7	0	0	0	0	
-		20	19.8	33.7	0	0	0	0	
頓別	8/18	0	21.2	33.7	0	0	0	0	
_		10	21.2	33.7	0	0	0	0	
		20	21.1	33.7	0	0	0	0	
		30	19.0	33.8	0	0	0	10	Dro10
紋別	8/18	0	20.5	31.6	0	0	0	0	
3.0		15	20.4	33.6	0	0	0	40	Dn20,Dro20
		25	20.3	33.6	0	0	0	10	Dro10
		38.9	18.6	33.7	0	0	0	0	

Aa = Alexandrium affineアレキサント・リウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ、 Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス・ルジュイ

Dc = Dinophysis caudata ディノフィシス・コウタータ、Dtri = Dinophysis tripos ディノフィシス・トリホ ス

#### コメント

麻痺性原因種Atは浜益・増毛・猿払・頓別・紋別では出現していません。

下痢性原因種は浜益ではディノフィシス・ノルヴェジカ、ディノフィシス・ロツンダータ、 頓別ではディノフィシス・ロツンダータ、 紋別ではディノフィシス・ノルヴェジカ、ディノフィシス・ロツンダータが出現しています。 増毛、猿払では出現していません。

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC34)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年8月23日

#### 中央水産試験場資源管理部

				莊	痺性原因種		下痢性原	田踊	
地点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	- 備考
<u>(透明度m)</u>		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/	L 細胞/L	細胞/L	
サロマ湖	8/18	0	22.1	22.0	0	10	100	0	
2.4		3	21.5	33.0	0	20	30	10	Dro10
		6	20.9	33.2	0	10	40	0	
		9	20.7	33.3	0	10	30	0	
		12	20.5	33.3	0	0	0	10	Dro10
		15	19.4	33.2	0	0	0	0	
厚岸	8/18	0	18.7	30.5	0	0	980	10	Dro10
2.5		5	14.0	32.2	290	50	80	20	Dn20
		10	12.9	32.9	10	0	30	0	
		13	12.0	33.1	10	0	10	0	

#### コメント

麻痺性原因種Atは厚岸で最大290細胞/Lが出現しています。

下痢性原因種はサロマ湖ではディノフィシス・フォルティ、ディノフィシス・アキュミナータ、ディノフィシス・ロツンダータ 厚岸ではディノフィシス・フォルティ、ディノフィシス・アキュミナータ、ディノフィシス・ノルヴェジカ、 ディノフィシス・ロツンダータが出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ,Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス・ルジェイ

Dc = Dinophysis caudata ディノフィシス・コウダータ、Dtri = Dinophysis tripos ディノフィシス・トリホ ス

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC33)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年8月16日

#### 中央水產試験場資源管理部

				麻	痺性原因種	-	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
猿払	8/3	0	19.0	33.4	0	0	0	0	
_		10	18.3	33.4	0	10	0	0	
		15	17.3	33.5	0	0	0	0	
		20	17.3	33.5	0	0	0	0	
常呂	8/10	0	20.6	33.4	0	0	0	0	
17.0		10	19.5	33.8	0	0	0	20	Dm20
		20	19.2	33.8	0	0	0	0	
		30	18.8	33.8	0	0	0	0	
網走	8/5	0	17.6	33.8	0	0	20	0	
10.0		10	17.1	33.8	0	10	0	0	
		20	16.2	33.9	0	10	0	10	Di10
		30	16.1	33.9	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex ፖレキサント ሀሳム ያマレンセ スピーシース コンプ レックス (IBA. tamarense ፖレキサント リウム・タマレンセ)

#### コメント

麻痺性原因種Atは猿払、常呂、網走では出現していません。

下痢性原因種は猿払ではディノフィシス・フォルティ

常呂ではディノフィシス・ミトラ

網走ではディノフィシス・フォルティ、ディノフィシス・アキュミナータ、ディノフィシス・インファンディブラ

が出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ,Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス・ルジェイ

Dc = Dinophysis caudata ディノフィシス・コウダータ、Dtri = Dinophysis tripos ディノフィシス・トリホ ス

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC32)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年8月9日

#### 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種	-	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
江差	7/20	0	21.0	33.4	0	0	0	0	
17.0		10	20.1	33.9	0	0	0	0	
		20	17.7	33.8	0	0	0	0	
		30	10.9	34.1	0	0	0	0	
厚岸	8/5	0	15.8	32.4	70	40	150	30	Dn10,Drot10,Di10
4.0		5	15.5	32.5	3980	60	700	100	Dn70,Di20,Dtri10
		10	14.7	32.5	2980	130	450	210	Dn180,Drot10,Di10 ,Dtri10
		13	12.4	32.6	630	40	130	0	

At = Alexandrium tamarense species complex ፖレキサント ነባጎム \$マレンセ スピーシース ٔ コンプ ບックス (旧A. tamarense アレキサント ነባጎム・\$マレンセ)

#### コメント

麻痺性原因種Atは厚岸で最大3980細胞/Iが出現しました。

下痢性原因種は厚岸ではディノフィシス・フォルティ、ディノフィシス・アキュミナータ、ディノフィシス・ノルヴェジカ、 ディノフィシス・ロツンダータ、ディノフィシス・インファンディブラ、ディノフィシス・トリポスが出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロッンダータ、 Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス・ルジェイ

Dc = Dinophysis caudata ディノフィシス・コウダータ、Dtri = Dinophysis triposディノフィシス・トリポス

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC31)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年8月5日

#### 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種	_	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
能取湖	7/26	0	20.3	28.0	0	0	10	0	
6.8		10	16.2	33.5	0	30	60	0	
標津	8/4	0	16.6	32.5	0	0	20	20	Dru20
5.5		5	16.6	32.5	0	0	20	0	
		10	16.4	32.6	0	0	40	10	Di10
		15	15.1	33.1	0	0	30	0	

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロッンタータ、 Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディフラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス・ルジェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス・コウダータ

#### コメント

麻痺性原因種Atは能取湖、標津では出現していません。

下痢性原因種は能取湖ではディノフィシス・フォルティ、ディノフィシス・アキュミナータ、 標津では、ディノフィシス・アキュミナータ、ディノフィシス・ルジェイ、ディノフィシス・インファンディブラ が出現しています。

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC30)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年7月27日

#### 中央水産試験場資源管理部

				菻	痺性原因種	-	下痢性原	<b></b> 因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	- 備考
(透明度m)	,,,	(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	P113 3
浜益	7/14	0	21.5	32.7	0	0	0	0	
10.0		10	20.2	33.5	0	0	0	0	
		20	17.8	33.9	0	0	0	0	
		30	15.7	34.0	0	0	0	0	
増毛	7/21	0	22.8	32.7	0	0	0	0	
15.0		10	18.8	33.7	0	0	0	0	
		20	16.4	33.8	0	0	0	0	
		30	14.9	34.0	0	0	0	0	
猿払	7/19	0	15.9	33.6	0	0	0	0	
_		10	14.8	33.6	0	0	0	0	
		20	14.1	33.6	0	0	0	0	
		30	12.9	33.7	0	0	0	0	
紋別	7/19	0	16.6	33.2	0	0	0	0	
8.0		15	13.5	33.9	0	0	0	0	
		25	13.4	33.9	0	0	0	0	
		41.7	13.4	33.9	0	0	0	0	
能取湖	7/14	0	20.6	33.1	0	0	0	0	
		10	16.0	33.3	0	40	30	0	
厚岸	7/22	0	16.3	30.4	100	0	0	30	Dn10,Dro20
1.5		5	12.9	32.4	330	10	90	40	Dn30,Dro10
		10	11.7	32.7	0	0	60	0	
		13	11.0	32.6	0	0	0	0	

#### コメント

麻痺性原因種Atは浜益、増毛、猿払、紋別、能取湖では出現していません。 厚岸では、最大330細胞/Lが出現しています。

下痢性原因種は浜益、増毛、猿払、紋別では出現していません。 能取湖では、ディノフィシス・フォルティ、ディノフィシス・アキュミナータ 厚岸では、ディノフィシス・フォルティ、ディノフィシス・アキュミナータ、ディノフィシス・ノルベジカ

ディノフィシス・ロツンダータが出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ,Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata  $\bar{\tau}^*$ לילוס בי Di=Dinophysis infundibula  $\bar{\tau}^*$ לילוס בי לידי לידי פֿרי די חודים בי חודים בי די חודים בי ח

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス・ルジェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス・コウタータ

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC29)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年7月22日

#### 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種	-	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
頓別	7/12	0	16.2	33.9	0	0	0	0	
_		10	14.4	33.9	0	0	0	0	
		20	14.3	33.9	0	0	0	0	
		30	13.5	33.9	0	0	0	0	
常呂	7/19	0	17.3	26.4	0	10	0	0	
10.0		10	14.5	33.9	0	0	0	0	
		20	13.6	33.9	0	0	0	0	
		30	13.6	33.9	0	0	0	0	
サロマ湖	7/19	0	19.1	32.9	0	0	0	0	
7.0		3	18.8	33.2	0	10	10	0	
		6	17.7	33.4	0	30	0	0	
		9	16.4	33.6	0	160	40	30	Di30
		12	15.3	33.5	0	90	50	90	Di90
		15	14.0	33.4	0	180	0	30	Di30

 $At = Alexandrium\ tamarense\ species\ complex\ 7 \nu + \forall \nu + ^\dagger \forall \rho \Delta\ S \nabla \nu + \Delta C - \nu - \lambda^* \ \exists \nu \gamma^* \nu \gamma \rho \lambda\ (IBA.\ tamarense\ \mathcal{F} \nu + \forall \nu + ^\dagger \forall \rho \Delta\cdot S \nabla \nu + \Delta C - \nu - \lambda^* \ \exists \nu \gamma^* \nu \gamma \rho \lambda\ (IBA.\ tamarense\ \mathcal{F} \nu + \forall \nu + ^\dagger \forall \rho \Delta\cdot S \nabla \nu + \Delta C - \nu - \lambda^* \ \exists \nu \gamma^* \nu + \Delta C - \lambda^* \ \exists \nu \gamma^* \nu + \Delta C - \lambda^* \$ 

#### コメント

麻痺性原因種Atは頓別、常呂、サロマ湖では出現していません。

下痢性原因種は頓別では出現していません。

常呂では、ディノフィシス・フォルティ、

サロマ湖では、ディノフィシス・フォルティ、ディノフィシス・アキュミナータ、ディノフィシス・インファンディブラ が出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロッンダータ、 Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

 $Dm = Dinophysis mitra \bar{\tau}^*$ ל אונים ביל ביל האונים של היל ביל האונים של היל האונים של היל האונים של היל האונים של האונים ש

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス・コウダータ

### 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC28)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年7月14日

#### 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因	種	-	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	.—	Df	Da	D属の他種	- 備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L		細胞/L	細胞/L	細胞/L	
増毛	7/7	0	22.4	29.4	0		0	0	0	
4.0		10	17.9	33.7	0		0	0	0	
		20	15.8	33.9	0		0	0	0	
		30	15.2	34.0	0		0	0	0	
猿払	7/5	0	15.0	33.0	0		10	0	0	
_		10	14.9	33.1	0		0	0	0	
		20	14.8	33.1	0		10	0	0	
		30	14.7	33.1	0		10	0	0	
網走	7/4	0	13.8	33.5	10		10	0	0	
9.0		10	12.9	33.8	10		30	10	0	
		20	12.9	33.7	20		50	10	0	
		30	12.3	33.7	40		10	0	0	
標津	7/12	0	15.4	31.9	10		0	30	40	Dro30,Di10
5.0		5	10.4	33.0	0		0	20	10	Di10
		10	9.7	33.1	30	Ao10	130	80	40	Dro20,Dru10,Di10
		15	9.6	33.1	40		520	190	40	Dro30,Dru10

At = Alexandrium tamarense species complex 7ν+4ν)- $^{1}$ /ੈ 47νν 47ν 47νν 47ν 47νν 4

#### コメント

麻痺性原因種Atは増毛、猿払では出現していません。一方、網走、標津では出現しています。

下痢性原因種は猿払では、ディノフィシス・フォルティ、

網走では、ディノフィシス・フォルティ、ディノフィシス・アキュミナータ、 標津では、ディノフィシス・フォルティ、ディノフィシス・アキュミナータ、ディノフィシス・ロツンダータ、 ディノフィシス・ルシェイ、ディノフィシス・インファンディブラが出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディフ・ラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス・ルジェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス・コウタータ

### 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC27)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年7月11日

#### 中央水產試験場資源管理部

				麻	痺性原因種	-	下痢性原		
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
厚岸	7/6	0	14.1	31.8	30	0	110	80	Dn50,Dro20,Di10
3.0		5	11.8	32.3	1110	10	130	110	Dn80,Dro20,Dru10
		10	9.4	32.5	640	0	20	30	Dn30
		13	8.2	32.6	0	0	0	0	

- $At = Alexandrium\ tamarense\ species\ complex\ 7 \nu + \forall \nu + ^{*} \forall \rho \Delta\ S \nabla \nu + \Delta C^{*} \nu \lambda^{*}\ \exists \nu \gamma^{*} \nu \gamma \rho \lambda\ (IBA.\ tamarense\ \mathcal{F} \nu + \forall \nu + ^{*} \forall \rho \Delta\cdot S \nabla \nu + \Delta C^{*} \nu \lambda^{*}\ \exists \nu \gamma^{*} \nu \gamma \rho \lambda\ (IBA.\ tamarense\ \mathcal{F} \nu + \forall \nu + ^{*} \forall \rho \Delta\cdot S \nabla \nu + \Delta C^{*} \nu \lambda^{*}\ \exists \nu \gamma^{*} \nu \gamma \rho \lambda\ (IBA.\ tamarense\ \mathcal{F} \nu + \forall \nu + ^{*} \forall \rho \Delta\cdot S \nabla \nu + \Delta C^{*} \nu \lambda^{*}\ \exists \nu \gamma^{*} \nu \gamma \rho \lambda\ (IBA.\ tamarense\ \mathcal{F} \nu + \forall \nu + ^{*} \forall \rho \Delta\cdot S \nabla \nu + \Delta C^{*} \nu \lambda^{*}\ \exists \nu \gamma^{*} \nu \gamma \rho \lambda\ (IBA.\ tamarense\ \mathcal{F} \nu + \forall \nu + ^{*} \forall \rho \Delta\cdot S \nabla \nu + \Delta C^{*} \nu \lambda^{*}\ \exists \nu \gamma^{*} \nu \gamma \rho \lambda\ (IBA.\ tamarense\ \mathcal{F} \nu + \forall \nu + ^{*} \forall \rho \Delta\cdot S \nabla \nu + \Delta C^{*} \nu \lambda^{*}\ \exists \nu \gamma^{*} \nu \gamma \rho \lambda\ (IBA.\ tamarense\ \mathcal{F} \nu + \nabla \nu + ^{*} \forall \rho \Delta\cdot S \nabla \nu + \Delta C^{*} \nu \lambda^{*}\ \exists \nu \gamma^{*} \nu \gamma \rho \lambda\ (IBA.\ tamarense\ \mathcal{F} \nu + \nabla \nu + ^{*} \forall \rho \Delta\cdot S \nabla \nu + \Delta C^{*} \nu \lambda^{*}\ \exists \nu \gamma^{*} \nu + \Delta C^{*} \lambda C^{*$
- Aa = Alexandrium affineアレキサント ゚リウム・アフィネ (無毒種)
- Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ
- Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロッンダータ、 Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ
- Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス・ルジェイ
- Dc = Dinophysis caudata ディノフィシス・コウタータ

#### コメント

麻痺性原因種Atは厚岸で最大1110細胞/Lが出現しています。

貝毒発生に注意が必要な50細胞/Lをはるかに超えていますので毒性値の推移にご注意ください。

下痢性原因種は厚岸では、ディノフィシス・フォルティ、ディノフィシス・アキュミナータ、ディノフィシス・ノルヴェジカ、ディノフィシス・ロツンダータ、ディノフィシス・ルジェイ、ディノフィシス・インファンディブラが出現しています。

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC26)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年7月8日

#### 中央水產試験場資源管理部

				麻	痺性原因	種	-	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	.— .	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L		細胞/L	細胞/L	細胞/L	
江差	6/21	0	16.0	33.7	0		0	0	0	
11.0		10	14.8	33.8	0		0	0	0	
		20	13.5	33.8	0		0	0	0	
		30	11.9	33.9	0		0	0	0	
増毛	6/28	0	16.1	33.6	0		0	0	0	
12.0		10	15.4	34.0	0		0	0	0	
		20	15.4	34.0	0		0	0	0	
		30	15.2	34.0	0		0	0	0	
常呂	7/5	0	14.7	33.5	0		0	0	0	
8.0		10	13.3	33.7	0		10	0	0	
		20	13.1	33.7	0		20	0	0	
		30	13.0	33.8	0		30	0	0	
サロマ湖	7/5	0	17.0	32.6	0		0	0	0	
9.0		3	16.9	32.7	0		10	0	10	Dro10
		6	14.3	33.3	0		50	10	10	Di10
		9	13.4	33.3	0	Aa20	40	0	20	Di20
		12	12.5	33.4	0	Aa60	670	30	0	
		15	11.2	33.4	0	Aa30	100	40	0	

At = Alexandrium tamarense species complex  $7\nu$ 7 +  $3\nu$ 7 -  $3\nu$ 7 - 3

#### コメント

麻痺性原因種Atは江差、増毛、常呂、サロマ湖では出現していません。

下痢性原因種はサロマ湖では、ディノフィシス・フォルティ、ディノフィシス・アキュミナータ、ディノフィシス・ロツンダータ、ディノフィシス・インファンディブラが出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス・ルン゙ェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス・コウダータ

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC25)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年7月4日

#### 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種	_	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
紋別	6/20	0	12.3	33.7	0	20	0	0	
10.0		15	9.7	33.9	0	0	0	0	
		25	9.6	33.9	0	30	0	10	Di10
		40.2	9.3	34.0	0	20	0	0	
能取湖	6/27	0	16.1	32.9	0	0	20	10	Dn10
		10	12.0	33.2	0	310	10	70	Dn30,Dro20,Di20

#### コメント

麻痺性原因種Atは紋別、能取湖では出現していません。

下痢性原因種は紋別では、ディノフィシス・フォルティ、ディノフィシス・インファンディブラ、

能取湖では、ディノフィシス・フォルティ、ディノフィシス・アキュミナータ、ディノフォシス・ノルウェンカ、 ディノフィシス・ロツンダータ、ディノフィシス・インファンディブラ、

がそれぞれ出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata  $\bar{\tau}^*$ לילוסילים Di=Dinophysis infundibula  $\bar{\tau}^*$ לילוסילים Di=Dinophysis infundibula  $\bar{\tau}^*$ לילוסילים חיים ביינים ביינים ביינים חיים ביינים ביינ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジħ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス・ルジェイ

Dc = Dinophysis caudata ディノフィシス・コウタータ

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC24)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年6月27日

#### 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種	-	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
浜益	6/17	0	14.9	33.1	0	10	0	0	
7.0		10	13.1	33.7	0	0	0	0	
		20	12.5	33.9	0	60	0	0	
		30	10.5	33.8	0	0	0	0	
猿払	6/17	0	11.2	33.5	0	0	0	0	
_		10	9.9	33.5	0	40	20	0	
		20	9.7	33.5	0	30	10	10	Dr10
		30	9.6	33.5	0	80	10	0	
頓別	6/17	0	9.6	33.9	0	110	10	0	
_		10	9.5	33.9	0	100	30	0	
		20	9.4	33.9	0	70	10	20	Dr10
		30	9.4	33.9	0	40	0	0	
厚岸	6/22	0	13.2	31.0	480	0	20	20	Dn20
2.5		5	10.0	32.2	120	0	0	10	Dro10
		10	7.6	32.9	20	0	0	0	
		13	7.3	32.9	0	0	0	0	

#### コメント

麻痺性原因種Atは厚岸で最大480細胞/Lが出現しています。

貝毒発生に注意が必要な50細胞/Lをはるかに超えていますので、

毒性値の推移にご注意ください。

下痢性原因種は浜益では、ディノフィシス・フォルティ、

猿払では、ディノフィシス・フォルティ、ディノフィシス・アキュミナータ、ディノフォシス・ルジェイ、 頓別では、ディノフィシス・フォルティ、ディノフィシス・アキュミナータ、ディノフィシス・ルジェイ、 厚岸ではディノフィシス・アキュミナータ、、ディノフィシス・ノルヴェジカ、ディノフィシス・ロツンダータが それぞれ出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント・リウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ、 Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス・ルジェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス・コウダータ

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC23)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年6月24日

#### 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種	_	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
増毛	6/22	0	15.0	33.6	0	0	0	0	
15.0		10	13.1	33.8	0	0	0	0	
		20	11.9	33.9	0	0	10	10	Dn10
		30	10.0	34.0	0	10	0	0	
常呂	6/20	0	8.3	33.0	1210	0	0	10	Dn10
9.0		5	9.2	33.9	130	140	0	20	Dn10,ro10
		10	9.0	33.9	20	150	0	0	
		13	9.0	33.9	30	180	0	10	Dro10
サロマ湖	6/20	0	15.9	32.3	0	0	10	20	Dn10,Dro10
7.5		3	12.6	33.0	0	10	20	50	Dn40,Dro10
		6	10.1	33.0	0	10	10	10	Dn10
		9	9.4	33.1	0	30	0	10	Dn10
		12	9.8	33.3	0	70	40	10	Di10
		15	9.8	33.4	0	130	20	30	Dn30

#### コメント

麻痺性原因種Atは常呂で最大1210細胞/Lが出現しています。 貝毒発生に注意が必要な50細胞/Lをはるかに超えていますので、 毒性値の推移にご注意ください。

下痢性原因種は増毛では、ディノフィシス・フォルティ、ディノフィシス・アキュミナータ、ディノフィシス・ノルウェジカ、

常呂では、ディノフィシス・フォルティ、ディノフィシス・ノルベジカ、ディノフォシス・ロツンダータ、 サロマ湖では、ディノフィシス・フォルティ、ディノフィシス・アキュミナータ、ディノフィシス・ノルヴュジカ、 ディノフィシス・ロツンダータ、ディノフィシス・インファンディブラがそれぞれ出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス・ルジェイ

Dc = Dinophysis caudata ディノフィシス・コウタータ

### 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC22)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年6月17日

#### 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種	_	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
猿払	6/7	0	7.12	33.54	0	0	0	0	
_		10	7.11	33.54	0	0	0	0	
		20	7.03	33.54	0	0	0	10	Dn10
		30	6.83	33.55	0	0	0	0	
能取湖	6/8	0	11.89	32.88	0	90	10	0	
9.5		10	10.48	33.17	0	20	40	0	
厚岸	6/9	0	9.24	31.53	450	0	20	0	
5.0		5	7.65	32.38	50	0	10	0	
		10	7.56	32.38	100	0	0	0	
		13	6.81	32.52	0	0	0	0	
標津	6/10	0	9.14	31.56	230	0	20	0	_
7.0		5	8.9	31.72	160	0	10	10	Dro10
		10	8.48	31.72	150	0	0	20	Dn20
1		15	6.9	32.33	30	0	10	0	

 $At = Alexandrium\ tamarense\ species\ complex\ 7 \nu + \forall \nu + ^\dagger \forall \rho \Delta\ S \nabla \nu + \Delta C - \nu - \lambda^* \ \exists \nu \gamma^* \nu \gamma \rho \lambda\ (IBA.\ tamarense\ \mathcal{F} \nu + \forall \nu + ^\dagger \forall \rho \Delta\cdot S \nabla \nu + \Delta C - \nu - \lambda^* \ \exists \nu \gamma^* \nu \gamma \rho \lambda\ (IBA.\ tamarense\ \mathcal{F} \nu + \forall \nu + ^\dagger \forall \rho \Delta\cdot S \nabla \nu + \Delta C - \nu - \lambda^* \ \exists \nu \gamma^* \nu + \Delta C - \lambda^* \ \exists \nu \gamma^* \nu + \Delta C - \lambda^* \$ 

#### コメント

麻痺性原因種Atは厚岸で最大450細胞/L、標津で最大230細胞/Lが出現しています。 貝毒発生に注意が必要な50細胞/Lを超えていますので、毒性値の推移にご注意ください。

下痢性原因種は猿払では、ディノフィシス・ノルウェジカが出現しました。

厚岸では、ディノフィシス・アキュミナータが出現しています。

標津では、ディノフィシス・フォルティ、ディノフィシス・アキュミナータ、ディノフィシス・ノルウェシガ、

標津では、ディノフィシス・フォルティ、ディノフィシス・アキュミナータが出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロッンダータ、 Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・/ルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディ/フィシス・ルジェイ

Dc = Dinophysis caudata ディノフィシス・コウタータ

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC21)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年6月13日

#### 中央水產試験場資源管理部

				麻	痺性原因種	-	下痢性原	因種	
地点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
<u>(透明度m)</u>		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
常呂	6/6	0	9.6	32.2	0	70	40	10	Dru10
8.0		10	9.4	33.7	10	60	20	0	
		20	9	33.7	0	50	30	0	
		30	8.8	33.7	0	40	0	0	
サロマ湖	6/6	0	10.8	32.8	0	20	0	0	
7.0		3	10.8	32.9	0	20	20	0	
		6	10.7	33	0	40	0	0	
		9	10.6	33	0	10	0	0	
		12	10.6	33	0	10	0	0	
		15	10.5	33.1	0	0	0	0	
網走	6/6	0	8.77	33.77	0	30	0	0	
10.0		10	8.36	33.8	0	0	10	0	
		15	8.33	33.79	0	10	0	0	
		20	8.27	33.78	0	0	0	0	

 $At = Alexandrium\ tamarense\ species\ complex\ 7 \nu + \forall \nu + ^\dagger \forall \rho \Delta\ S \nabla \nu + \Delta C - \nu - \lambda^* \ \exists \nu \gamma^* \nu \gamma \rho \lambda\ (IBA.\ tamarense\ \mathcal{F} \nu + \forall \nu + ^\dagger \forall \rho \Delta\cdot S \nabla \nu + \Delta C - \nu - \lambda^* \ \exists \nu \gamma^* \nu \gamma \rho \lambda\ (IBA.\ tamarense\ \mathcal{F} \nu + \forall \nu + ^\dagger \forall \rho \Delta\cdot S \nabla \nu + \Delta C - \nu - \lambda^* \ \exists \nu \gamma^* \nu + \Delta C - \lambda^* \ \exists \nu \gamma^* \nu + \Delta C - \lambda^* \$ 

#### コメント

麻痺性原因種Atは常呂で出現しています。

下痢性原因種は常呂では、ディノフィシス・フォルティ、ディノフィシス・アキュミナータが出現しました。 網走では、ディノフィシス・フォルティ、ディノフィシス・アキュミナータが出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス・ルジェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス・コウダータ

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC20)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年6月3日

#### 中央水産試験場資源管理部

				菻	痺性原因種	-	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	- 備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
江差	4/25	0	10.38	33.62	0	0	0	0	
8.0		10	8.9	34.06	0	0	10	0	
		20	8.73	34.1	0	0	0	0	
		30	8.15	34.1	0	0	0	0	
江差	5/23	0	13.4	31.92	0	0	0	0	
12.0		10	12.96	34.1	0	0	0	0	
		20	12.19	34.11	0	0	0	0	
		30	10.87	34.15	0	0	0	0	
浜益	5/23	0	13.08	30.76	0	0	0	0	
6.0		10	11.14	32.35	0	250	10	10	Dru10
		20	9.56	33.74	0	40	0	0	
		30	9.13	33.85	0	0	0	0	
増毛	5/24	0	12.93	31.03	0	0	0	0	
7.0		10	11.28	33.38	0	20	10	0	
		20	10.12	33.93	0	0	0	0	
		30	9.45	33.93	0	40	0	0	
能取湖	5/26	0	14.86	33.02	0	0	10	0	
9.6		10	10.67	33.07	0	50	30	0	
厚岸	5/25	0	9.85	31.99	230	0	30	20	Dro10, Dru10
5.0		10	8.72	32.12	140	0	10	10	Dro10
		15	6.13	32.49	30	0	0	20	Dro10,Dn10
		20	5.14	32.54	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex ፖレキサント ነງሳム \$マレンセ スピーシース ٔ コンプ ບックス (IBA. tamarense ፖレキサント ነງሳム・\$マレンセ)

#### コメント

麻痺性原因種Atは厚岸で100細胞/Iを超える密度で出現しています。

下痢性原因種は江差では、4/25にディノフィシス・アキュミナータが出現しましたが、5/23には出現していません。 浜益ではディノフィシス・フォルティ、ディノフィシス・アキュミナータ、ディノフィシス・ルシェイが出現しています。 増毛では、ディノフィシス・フォルティ、ディノフィシス・アキュミナータが出現しています。 能取湖では、ディノフィシス・フォルティ、ディノフィシス・アキュミナータが出現しています。 厚岸ではディノフィシス・アキュミナータ、ディノフィシス・ルシェイ、ディノフィシス・ロッンダータ、ディノフィシス・ノルウェ が出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディ/フィシス・ルン゙ェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス・コウダータ

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC19)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年5月27日

#### 中央水產試験場資源管理部

-				麻	痺性原因種	-	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
頓別	5/17	0	8.5	33.6	0	20	80	10	Dru10
_		10	8.47	33.6	0	0	30	10	Dro10
		20	8.45	33.6	0	30	40	0	
		30	8.44	33.6	0	10	30	10	Dru10
紋別	5/17	0	8.9	33.3	0	20	0	0	
15.0		15	8.7	33.4	0	0	20	0	
		25	8.0	33.5	0	0	0	0	
		39.2	7.8	33.6	0	0	30	0	
猿払	5/19	0	9.82	32.81	0	20	20	0	
_		10	9.01	33.08	0	0	10	0	
		15	8.91	33.14	0	0	10	0	
		20	8.88	33.14	0	30	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex ፖレキサント ሀሳム ያマレンセ スピーシース コンプ レックス (IBA. tamarense ፖレキサント リウム・タマレンセ)

#### コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種は頓別では、ディノフィシス・フォルティ、ディノフィシス・アキュミナータ、ディノフィシス・ルジェイ、 紋別では、ディノフィシス・フォルティ、ディノフィシス・アキュミナータが出現しています。 猿払では、ディノフィシス・フォルティ、ディノフィシス・アキュミナータが出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス・ルジェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス・コウダータ

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC18)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年5月25日

#### 中央水產試験場資源管理部

						7-2			- 1£	
					痺性原因	揰 .		下痢性原		_
地 点	月日	深度	水温	塩分	At		Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L		細胞/L	細胞/L	細胞/L	
増毛	5/13	0	10.78	32.28	0		0	0	0	
12.0		10	9.28	33.35						採水器故障による
		20	9.21	33.77			欠	則		
		30	9.07	33.89						
能取湖	5/17	0	11.89	32.91	0		0	0	0	
6.7		10	9.99	33.07	0		10	40	20	Dru20
サロマ湖	5/23	0	12.7	32.8	0		10	0	0	
9.0		3	12.6	32.8	0		0	10	10	Dru10
		6	12	32.9	0		0	0	0	
		9	10.4	33	0	Aa1	20	10	0	
		12	9.5	33.1	0		0	0	0	
		15	9.2	33.1	0		0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex ፖレキサント ሀሳム ያマレンセ スピーシース・コンプ レックス (旧A. tamarense ፖレキサント リウム・タマレンセ)

#### コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種は能取湖では、ディノフィシス・フォルティ、ディノフィシス・アキュミナータ、ディノフィシス・ルジェイが出現しています。

サロマ湖では、ディノフィシス・フォルティ、ディノフィシス・アキュミナータ、ディノフィシス・ルジェイが出現してい

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロッンダータ、 Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス・ルジェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス・コウダータ

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC17)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年5月20日

#### 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種	_	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
猿払	5/10	0	7.92	33.13	0	20	30	20	Dro10,Dru10
_		5	7.79	33.12	0	0	20	10	Dru10
		10	7.76	33.14	0	0	10	0	
		15	7.62	33.21	0	10	0	0	
網走	5/12	0	8.77	33.42	0	0	0	0	
8.0		5	7.24	33.49	0	10	0	0	
		10	7.09	33.52	0	0	10	0	
		13	6.47	33.61	0	10	40	0	

#### コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種は猿払では、ディノフィシス・フォルティ、ディノフィシス・アキュミナータ、ディノフィシス・ロツンダータ、ディノフィシス・網走では、ディノフィシス・フォルティ、ディノフィシス・アキュミナータが出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス・ルジェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス・コウダータ

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC16)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年5月17日

#### 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種	_	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
標津	5/12	0	5.87	31.81	10	0	10	10	Dru10
6.0		5	2.2	32.02	20	0	20	60	Dn30, Dru30
		10	1.49	32.6	0	0	0	0	
		15	1.52	32.6	0	0	0	10	Dn10
厚岸	5/12	0	8.44	31.71	40	0	10	0	
3.0		5	7.02	31.87	0	0	0	10	Dn10
		10	2.4	32.59	10	0	0	0	
		13	2.01	32.65	30	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex ፖレキサント ሀጎሳ ያላገ አኒ ግንጋ የህንዕ (IBA. tamarense ፖレキサント ሀጎሳ የላገነት)

#### コメント

麻痺性原因種Atは標津、厚岸に出現しています。

下痢性原因種は標津では、ディノフィシス・アキュミナータ、ディノフィシス・ルジェイ、ディノフィシス・ノルヴェジカが、厚岸では、ディノフィシス・アキュミナータ、ディノフィシス・ノルヴェジカが出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント ゚リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロッンダータ、 Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス・ルジェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス・コウダータ

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC15)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年5月12日

#### 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種	-	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
常呂	5/9	0	8	32.8	0	10	120	10	Dru10
7.0		10	5.6	33.1	0	0	80	0	
		20	5.5	33.2	0	0	40	0	
		30	6	33.4	0	0	40	10	Dru10
サロマ湖	5/10	0	9.6	32.5	0	0	0	0	_
6		3	9.4	32.4	0	0	10	0	
		6	9.3	32.5	0	0	20	0	
		9	9.2	32.5	0	0	0	0	
		12	9.1	32.5	0	0	0	0	
		15	8.4	32.8	0	0	0	0	

#### コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種は常呂では、ディノフィシス・アキュミナータ、ディノフィシス・ルジェイが、サロマ湖では、ディノフィシス・アキュミナータが出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディプラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス・ルジェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス・コウタータ

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC14)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年5月10日

#### 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種	_	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
増毛	4/26	0	9.6	29.86	0	0	0	10	Di10
8.0		10	8.4	33.16	0	0	30	0	
		20	7.8	33.91	0	0	0	0	
		30	7.49	34.03	0	0	10	0	
猿払	4/26	0	6.88	31.68	0	0	0	0	
_		10	6.77	33.05	0	0	0	0	
		15	6.76	33.07	0	0	10	0	
		20	6.68	33.14	0	0	10	0	
能取湖	4/27	0	8.58	32.44	0	0	0	0	
8.0		10	7.67	32.67	0	0	20	0	
厚岸	4/26	0	6.83	31.57	20	0	0	0	
4.0		5	3.82	32.4	0	0	0	0	
		10	2.38	32.51	0	0	0	0	
		13	2.18	32.54	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex ፖレキサント ነባሳム ያマレンセ スピーシース ` コンプ `レックス (IBA. tamarense ፖレキサント ነባሳム・タマレンセ)

#### コメント

麻痺性原因種Atは厚岸で出現しています。

下痢性原因種は猿払・能取湖では、ディノフィシス・アキュミナータが、 増毛では、ディノフィシス・アキュミナータ、ディノフィシス・インファンディブラが出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジħ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス・ルジェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス・コウダータ

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC13)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年5月2日

#### 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種	-	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	- 備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
浜益	4/21	0	8.85	26.15	0	0	30	10	Dru10
4.0		10	8.01	32.25	0	0	0	20	Dru20
		20	7.31	33.83	0	0	10	0	
		30	7.17	34.02	0	0	0	0	
サロマ湖	4/25	0	7.26	31.44	0	0	0	0	
6.8		3	6.79	31.97	0	0	0	0	
		6	7.0	32.5	0	0	10	0	
		9	7.2	32.6	0	0	10	0	
		12	6.8	32.5	0	0	0	10	Dru10
		15	4.1	32.6	0	0	0	0	
常呂	4/27	0	7.5	33.1	0	0	0	0	
10.0		10	7	33.4	0	10	20	0	
		20	6.5	33.6	0	10	30	0	
		30	6.4	33.6	0	0	30	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサント・リウム タマレンセ スピーシース・コンプレックス (旧A. tamarense アレキサント・リウム・タマレンセ)

#### コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種は浜益・サロマ湖では、ディノフィシス・アキュミナータ、ディノフィシス・ルジェイが、 常呂では、ディノフィシス・フォルティ、ディノフィシス・アキュミナータが出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロッンダータ、 Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス・ルジェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス・コウダータ

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC12)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年4月28日

#### 中央水産試験場資源管理部

				麻	因種						
地 点	月日	深度	水温	塩分		<b>4</b> t		Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細層	<u>抱/L</u>		細胞/L	細胞/L	細胞/L	
紋別	4/15	0	5.7	33.5	0	0	0	0	0	0	
(1.5)		15	5.2	33.7	0	0	0	0	0	0	
		25	5.1	33.7	0	0	0	0	0	0	
		34	5.1	33.7	0	0	0	0	30	0	

- Aa = Alexandrium affineアレキサント ゚リウム・アフィネ (無毒種)
- Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ
- Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロッンダータ、 Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ
- Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディ/フィシス・ルン゙ェイ
- Dc = Dinophysis caudataディノフィシス・コウダータ

#### コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種はディノフィシス・アキュミナータが出現しています。

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC11)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年4月26日

#### 中央水産試験場資源管理部

				麻	因種						
地 点	月日	深度	水温	塩分		<b>\</b> t		Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細月	包/L		細胞/L	細胞/L	細胞/L	
標津	4/21	0	3.1	31.2	0	0	0	0	0	0	
(7.0)		10	3.1	31.5	0	0	0	0	10	10	Dru
		20	-0.3	32.5	0	0	0	0	0	0	
		30	-0.3	32.6	0	0	0	0	0	0	

- Aa = Alexandrium affineアレキサント ゚リウム・アフィネ (無毒種)
- Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ
- Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロッンダータ、 Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ
- Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディ/フィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディ/フィシス・ルジェイ
- Dc = Dinophysis caudataディノフィシス・コウダータ

#### コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種はディノフィシス・アキュミナータ、ディノフィシス・ルジェイが出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しています。

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC10)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年4月25日

#### 中央水産試験場資源管理部

				麻	因種						
地 点	月日	深度	水温	塩分	-	٩t		Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細層	抱/L		細胞/L	細胞/L	細胞/L	
増毛	4/15	0	7.6	30.4	0	0	0	0	0	0	
(6.0)		10	6.9	33.8	0	0	0	0	0	0	
		20	6.7	33.9	0	0	0	0	0	0	
		30	6.6	34.0	0	0	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサント・リウム タマレンセ スピーシース・コンプ・レックス (旧A. tamarense アレキサント・リウム・タマレンセ)

#### コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種は出現していません。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス・ルジェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス・コウダータ

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC9)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年4月22日

#### 中央水産試験場資源管理部

				麻							
地 点	月日	深度	水温	塩分		<b>\</b> t		Df	Da	D属の他種	備考
<u>(透明度m)</u>		(m)	(°C)	(psu)	細月	<u> </u>		細胞/L	細胞/L	細胞/L	
頓別	4/14	0	5.4	33.3	0	0	0	0	0	0	_
_		10	5.6	33.6	0	0	0	0	0	0	
		20	5.6	33.6	0	0	0	0	10	0	
		30	5.6	33.6	0	0	0	0	10	0	

#### コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種では頓別でディノフィシス・アキュミナータが出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント ゚リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロッンダータ、 Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディ/フィシス・ルン゙ェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス・コウダータ

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC8)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年4月21日

#### 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性	原因	種	_	下痢性原		
地 点	月日	深度	水温	塩分	-	<b>4</b> t		Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細層	抱/L		細胞/L	細胞/L	細胞/L	
猿払	4/12	0	5.5	33.3	0	0	0	0	0	0	
_		10	5.5	33.3	0	0	0	0	10	0	
		20	5.5	33.3	0	0	0	0	20	0	
		30	5.5	33.3	0	0	0	0	30	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサント・リウム タマレンセ スピーシーズ・コンプ・レックス (旧A. tamarense アレキサント・リウム・タマレンセ)

#### コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種では猿払でディノフィシス・アキュミナータが出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント ゚リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロッンダータ、 Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディ/フィシス・ルジェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス・コウダータ

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC7)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年4月19日

#### 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性	原因	種	-	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	P	<b>∖</b> t		Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細月	包/L		細胞/L	細胞/L	細胞/L	
網走	4/11	0	5.0	33.1	0	0	0	0	0	0	
(7.0)		10	5.1	33.6	0	0	0	0	0	0	
		20	5.1	33.7	0	0	0	0	20	0	
		30	5.0	33.8	0	0	0	0	0	0	
厚岸	4/14	0	3.7	31.1	0	0	0	0	0	0	_
(0.6)		5	2.5	31.9	0	0	0	0	0	10	Dru
		10	1.5	32.3	0	0	0	0	0	0	
		13	1.5	32.3	0	0	0	0	0	0	

#### コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種では網走でディノフィシス・アキュミナータが、厚岸でディノフィシス・ルジェイが出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディプラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス・ルジェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス・コウダータ

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC6)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年4月15日

#### 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性	原因	種	-	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	P	٩t	_	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細月	包/L		細胞/L	細胞/L	細胞/L	
能取湖	4/7	0	2.9	31.2	0	0	0	0	10	10	D.rudgei
(3.8)		10	1.1	32.5	0	0	0	0	0	0	
常呂	4/11	0	4.8	29.8	0	0	0	0	0	0	
(0.8)		10	4.9	33.4	0	0	0	0	10	0	
		20	5.1	33.7	0	0	0	0	10	0	
		30	5.1	33.7	0	0	0	0	0	0	
サロマ湖	4/11	0	4.3	29.9	0	0	0	0	0	0	
(3.3)		3	4.0	30.7	0	0	0	0	0	0	
		6	2.9	32.5	0	0	0	0	0	0	
		9	2.2	32.6	0	0	0	0	0	0	
		12	2.7	32.8	0	0	0	0	0	0	
		15	2.7	32.8	0	0	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex ፖレキサント ሀሳム ያマレンセ スピーシース コンプ レックス (IBA. tamarense ፖレキサント リウム・タマレンセ)

#### コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種では常呂でディノフィシス・アキュミナータが、 能取湖でディノフィシス・アキュミナータおよびディノフィシス・ルジェイが出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス・ルジェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス・コウダータ

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC5)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年3月29日

#### 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性	原因	種	_	下痢性原		
地 点	月日	深度	水温	塩分		<b>\</b> t	_	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細層	<u> 抱/L</u>		細胞/L	細胞/L	細胞/L	
標津	3/14	0	-0.8	31.7	0	0	0	0	0	0	_
(14.0)		5	-0.9	31.7	0	0	0	0	0	0	
		10	-0.9	31.7	0	0	0	0	0	0	
		15	-0.9	31.7	0	0	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサント・リウム タマレンセ スピーシース・コンプレックス (旧A. tamarense アレキサント・リウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス・ルジェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス・コウダータ

#### コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種も出現していません。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 有馬大地)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC4)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年3月10日

#### 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種		下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
厚岸	3/4	0	1.3	27.5	0	0	0	0	
(3.5)		5	0.0	31.9	0	0	0	0	
		10	-0.2	32.1	0	0	0	0	
		13	-0.2	32.1	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサント・リウム タマレンセ スピーシース・コンプレックス (旧A. tamarense アレキサント・リウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス・ルジェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス・コウダータ

#### コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種も出現していません。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 有馬大地)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC3)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年2月25日

#### 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種		下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
標津	2/24	0	-1.3	31.2	0	0	20	0	
(9.0)		5	-1.3	31.5	0	0	0	0	
		10	-1.3	31.6	0	0	10	10	Dru
		15	-1.3	31.6	0	0	0	0	

 $At = Alexandrium \ tamarense \ species \ complex \ 7 \nu + \nu \nu \nabla \ 1 \nabla \ 2 \nu \nabla \ 2 \nabla \nabla \ 2 \nabla \nabla \nabla \ 2 \nabla \nabla \nabla \ 2 \nabla \nabla \ 2 \nabla \nabla \nabla \nabla \ 2 \nabla \nabla \nabla \nabla \ 2 \nabla \nab$ 

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス・ルジェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス・コウダータ

#### コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種ではディノフィシス・アキュミナータおよびディノフィシス・ルジェイが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範,有馬大地)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC2)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年2月22日

#### 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種	-	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
厚岸	2/14	0	-0.1	31.3	0	0	0	0	_
(7.0)		5	0.0	32.1	0	0	10	0	
		10	0.2	32.2	0	0	20	0	
		13	0.2	32.2	0	0	10	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサント・リウム タマレンセ スピーシース・コンプレックス (旧A. tamarense アレキサント・リウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス・ルジェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス・コウダータ

#### コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種ではディノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範,有馬大地)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC1)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2022年1月28日

#### 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種	_	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
厚岸	1/24	0	0.1	32.4	0	0	40	0	_
(6.0)		5	0.9	32.2	0	0	0	0	
		10	1.3	32.3	0	0	70	0	
		13	1.3	32.3	0	0	80	10	Dro

 $At = Alexandrium \ tamarense \ species \ complex \ 7 \nu + \nu \nu \nabla \ 1 \nabla \ 2 \nu \nabla \ 2 \nabla \nabla \ 2 \nabla \nabla \nabla \ 2 \nabla \nabla \nabla \ 2 \nabla \nabla \ 2 \nabla \nabla \nabla \nabla \ 2 \nabla \nabla \nabla \nabla \ 2 \nabla \nab$ 

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス・ルジェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス・コウダータ

#### コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種ではディノフィシス・アキュミナータが最大で80細胞/L出現しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範,有馬大地)